

船舶事故調査報告書

令和2年2月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	令和元年5月24日 13時00分ごろ
発生場所	福井県おおい町 鋸 ^{のこぎり} 崎南西方沖 鋸崎灯台から真方位238° 2.7海里付近 (概位 北緯35° 31.4′ 東経135° 36.9′)
事故の概要	プレジャーボート ^{ヨウボート} KOUCHI丸は、航行中、浸水した。
事故調査の経過	令和元年5月29日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート KOUCHI丸、5トン未満（長さ2.80m）
船舶番号、船舶所有者等	第250-37952号（船舶検査済票の番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、釣り場所を移動するため約15km/hの速力（対地速力、以下同じ。）で航行中、船体が波間に入った際に船首方から波を受け、船内に海水が打ち込み、水船状態となった。</p> <p>船長及び同乗者は、共に救命胴衣を着用しており、泳いで岸にたどり着いた。</p> <p>本船は、船長から連絡を受けた海上保安庁の巡視艇により揚収された。</p> <p>船長は、同乗者を船尾方に座らせ、速力を下げて航行すべきであったと本事故後に思った。</p>
分析	本船は、波高約0.5mの波がある状況下、約15km/hの速力で航行中、船体が波間に入った際に船首方から波を受け、船内に海水が打ち込んだことから、浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、波高約0.5mの波がある状況下、約15km/hの速力で航行中、船体が波間に入った際に船首方から波を受け、船内に海水が打ち込んだため、浸水したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、乾舷の小さい船舶で航走する場合、気象及び海象状況を勘案し、速力を調整して航行すること。